

大阪電気通信大 寝屋川キャンパス

大阪電気通信大学の寝屋川キャンパス（大阪府寝屋川市）で9日、同キャンパスのリニューアルを記念したイベントが開催された。同キャンパスでは学園創立80周年記念事業として平成30（2018）年から校舎や体育館が新築され、今年8月にリニューアルを完了した。

リニューアル記念イベント開く



パネルディスカッションに登壇した（左から）広瀬慶輔氏、谷原徹氏、石川潤一氏、塩田邦成氏

I C T を軸とした教育に注力



リニューアルが完了した、大阪電気通信大学の寝屋川キャンパス

開放的な研究室や実験室

イベントでは、大石利光理事長が新棟の「OECUIノベーションスクエア」について説明。開かれたキャンパスをコンセプトとして、フルオープンな研究室やガラス張りの実験室で学部や学科の枠を超えて学生が出会う場を創出し、新たな学びの環境を実現すると表明した。

同市の広瀬慶輔市長は「これからの大学教育に期待すること」と題して講演。迅速な意思決定には学識の経験に基づいた知見が不可欠といひ、「寝屋川市が選ばれるまちとなるために地元と協力して、それぞれの価値を高めるような関係を作っていきたい」と呼びかけた。

パネルディスカッションには同大学の卒業生でFPTジャパンホールディングスの谷原徹会長と同市の自動車部品メーカー、エクセディの石川潤一・グローバル人材開発部長も登壇。

「これからの大学教育と人材育成」をテーマに、自己変革や異なる分野への挑戦に意欲的な人材の育成に期待を込めた。塩田邦成学長は今後、ICTを軸にした教育に力を入れる方針を明かし、「大学が社会や地域に貢献できることを考えていきたい」と話した。

また、学生を対象としたコンペティションで最優秀賞に選ばれた作品を基に設置された広場の概要を紹介。来年4月に開設する「建築・デザイン学部」、令和7（2025）年4月に開設予定の「健康情報学部」（仮称・構想中）の説明も行われた。